

科目等履修生高度プログラム

デジタル ヒューマニティーズ

An open book is the central focus, with vibrant blue water splashing over its pages. The water is dynamic, with droplets and streams creating a sense of movement. Scattered around the book and water are various letters, numbers, and symbols in different colors and sizes, suggesting a digital or data-driven theme. The background is dark, making the blue water and white text stand out.

令和7年度 出願要項

大阪大学大学院人文学研究科
言語文化学専攻

○概要

デジタルヒューマニティーズは、伝統的な人文学とデジタルとの有機的な結合により、人類知の取得、解釈、比較、参照、表現方法などの再構成に取り組む分野横断的な研究・教育領域です。それは、文字や紙媒体だけでは不可能な資料・史料の理解やテキストの読み、エビデンスの可視化、独創的なりサーチクエスションの創成を実現するとともに、方法論的共有地に基づく協働（interoperability & collaboration）などを通して、人文知の新地平を切り開く取り組みでもあります。

本プログラムは、デジタルヒューマニティーズの基礎から応用までをカバーするとともに、言語統計学、史的言語研究により客観的なデータ、信頼度の高いエビデンスに基づく研究のあり方を幅広く学修します。それにより、科学的再現性・検証可能性を担保することと文化の研究を追求します。提供する講義とコースワークを通して、デジタル化した人文学的データを的確に分析考察し、ニーズに合致した情報の鉱脈を掘り当て活用する高度な「デジタルヒューマニティーズ・リテラシー」を修得することが可能になります。

なお、本プログラムは、学校教育法第105条に定められた履修証明制度に基づくプログラムに該当するため、本プログラムを受講し、本プログラムで定める所定の単位を修得したときは、大阪大学総長から修了認定証（履修証明書）が授与されます。

— 受講を希望される皆さまへ —

当プログラムを修了することにより、高度にデジタル化しつつある社会が産出する大規模なデータやテキストからニーズに合致した有用な情報や人文知を掘り起こし活用するスキルおよびデジタルリテラシーを身につけることが可能となります。

他の大学院や研究機関に在籍する研究者や学生の方、あるいは企業等に勤める方で人文学データ・テキストを新たな角度から読み直したいと思う方、将来、大阪大学大学院人文学研究科に入学し、デジタルヒューマニティーズ関連の分野を専攻しようと思っている方、デジタルヒューマニティーズに関心がある方の受講を大いに歓迎します。

プログラム実施責任者 田畑 智司（人文学研究科言語文化学専攻教授）

1. 募集人員

若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 本研究科において大学卒業以上の学力があると認められた者

【出願資格審査】

上記の出願資格(2)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行う必要がありますので、「6. 出願手続」に記載するア)、イ)の書類及び大学卒業以上の学力に係る資料がある場合は、その資料を令和7年1月14日(火)～1月16日(木)までに豊中事務部学務係へ郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生高度プログラム出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

審査の結果は、令和7年2月6日(木)までにメールでお知らせします。

審査の結果、出願資格を有していると認められた場合は、出願書類を受理しますので、出願書類受理期間内に他の出願書類ウ)～エ)を提出してください。

3. 入学時期及び在学期間

入学時期は、年度の始めとし、本プログラムの履修期間は原則として1年とします。また、在学期間は、1年以内において履修する授業科目所定の授業期間とします。

なお、1年以内に本プログラムを修了することができなかった場合は、改めて本プログラムに出願する必要があります。

4. プログラム修了要件及び構成科目

本プログラムの修了要件及び本プログラムの構成科目は別紙のとおりです。

5. 履修科目及び単位の付与

履修を希望しても人数制限により履修が認められないことがあるため、履修することができる科目は、あらかじめ履修を許可した科目のみとなります。

なお、履修した科目は、試験に合格すれば所定の単位が付与されます。

6. 出願手続

豊中事務部学務係に下記の出願書類等を郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生高度プログラム入学願書在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

【出願書類受理期間】

令和7年2月11日（火）～2月13日（木）【必着】

（持参の場合の受付時間 9時～11時30分、13時～16時）

【出願書類等】

ア) 入学願書（本専攻所定様式・写真添付）

イ) 最終学校の卒業又は修了（見込）証明書及び成績証明書

ウ) 外国語能力に関する検定試験の成績証明書等を所持している場合はその証明書（写）

（例）TOEFL、IELTS、TOEIC など（履修希望科目により任意とし英語に限らない。）

※書類選考の参考資料とするものであり、未所持の場合は提出する必要ありません。

エ) 検定料及び振込方法

①検定料 9,800円

②振込期間 令和7年2月3日（月）～2月13日（木）

③振込方法 本専攻所定の振込依頼書の※欄に、志願者本人の住所・氏名及び電話番号を記入のうえ、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の受付窓口で上記①の検定料を振り込んでください。（ATMは不可。必ず受付窓口で振り込んでください。）

④振込手数料は志願者の負担とします。

⑤検定料納入証明書を「検定料納入証明書貼付用紙」に貼付してください。

オ) このほか、必要な場合は、出願後に追加資料の提出を求められることがあります。

7. 選考方法

提出書類に基づき書類選考を行います。

なお、本プログラムが必要と判断したときは、専門的知識等の学力の確認を含む個人面接をオンラインにより行うことがあります。個人面接を行う場合はメールでお知らせします。

8. 合格者発表及び入学手続

選考の結果は、令和7年3月13日（木）にメールでお知らせします。

（3月14日（金）16時になっても通知が届かない場合は連絡願います。）

なお、入学手続に必要な事項は、選考の結果とともにメールで通知します。

入学手続期間（予定） 3月14日（金）～18日（火）

9. 入学料及び授業料の額

入学料 28,200円

授業料 1単位 14,400円

10. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については、合格者発表日以降、「入学料収納」等の業務を行うためにも利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、履修指導等）」、「学生支援関係（健康管理等）」及び「授業料収納」等の業務を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学選抜方法の調査・研究のために利用することがあります。
- (3) 上記（1）及び（2）の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または一部を提供します。

11. 注意事項

- (1) 入学願書には履修を希望する科目（春～夏学期開講分／秋～冬学期開講分のすべて）を記入してください。
- (2) 出願手続後は出願事項の変更を認めません。
- (3) 授業時間割等に変更されることがあります。
- (4) 履修を許可された授業科目は、原則として変更できません。
- (5) 既納の検定料は次の場合を除き返還しません。
 - ①出願したが出願資格がなかった場合
 - ②出願書類受理期限後に出願書類が本専攻に到着した場合
 - ③出願書類に不備があり受付できなかった場合
 - ④検定料を振り込んだが本プログラムに出願しなかった場合
 - ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (6) 「通学証明書」、「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」は発行できません。
- (7) 本学図書館の利用については、本学図書館のホームページを参照してください。
<https://www.library.osaka-u.ac.jp>
- (8) 科目等履修生になられても留学ビザの申請はできません。
- (9) 1年以内に本プログラムを修了することができず、改めて本プログラムに出願する場合において、既に修得している本プログラム構成科目の単位がある場合は、審査を経て、本プログラムの修了単位として認めることがあります。
- (10) 大学院人文学研究科博士前期課程に入学した際に、本プログラムで修得した科目の単位については、審査を経て、大学院の修了単位として認めることがあります。
- (11) この出願要項は本プログラム専用です。単に人文学研究科の科目の履修を希望する者に対する通常の科目等履修生の出願は、専攻ごとに出願要項が作成・公表されていますので、その要項を参照してください。
- (12) その他不明な点については豊中事務部学務係へ問い合わせてください。

○連絡先

担当係	大阪大学人文学研究科豊中事務部学務係（人文学研究科言語文化棟B棟1階）
所在地	〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-8
電話	06-6850-5856（直通）
E-mail	jibun-gakumu@office.osaka-u.ac.jp
交通	[電車] 阪急電車宝塚線石橋阪大前駅下車 徒歩約15分 [モノレール] 大阪モノレール柴原阪大前駅下車 徒歩約15分
ホームページ	人文学研究科言語文化学専攻 https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/

プログラム修了要件

以下のプログラム構成科目から、8単位以上を修得すること。ただし、デジタルヒューマニティーズ基礎、デジタルヒューマニティーズAまたはB、デジタルヒューマニティーズ演習から4単位以上を含めること。

プログラム構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講研究科・開講課程	開講キャンパス
		必修	選必	選択			
450201	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450202	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	箕面
450203	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450204	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	箕面
450232	デジタルヒューマニティーズ演習		1		秋学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450241	人文学とデジタル技術		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	オンデマンド
450242	人文学とデジタル技術		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	オンデマンド
452111	デジタルヒューマニティーズA (テキスト分析論)		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452112	デジタルヒューマニティーズB (テキスト分析論)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452113	デジタルヒューマニティーズA (言語処理と情報検索)		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452114	デジタルヒューマニティーズB (言語処理と情報検索)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452115	デジタルヒューマニティーズA (データ解析)		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452116	デジタルヒューマニティーズB (データ解析)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452109	言語統計学A			2	春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452110	言語統計学B			2	秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452105	史的言語研究A			2	春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452106	史的言語研究B			2	秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
211688	行動統計科学特講Ⅰ			2	夏学期 (集中講義)	人間科学研究科博士前期課程	吹田
220369	法政情報処理			2	春～夏学期	法学研究科博士前期課程	豊中

注1) デジタルヒューマニティーズ基礎(時間割コード450201～450204)は同一授業内容です。いずれかのクラスを選択する必要があります。

注2) 人文学とデジタル技術(時間割コード450241・450242)は同一授業内容です。いずれかのクラスを選択する必要があります。

注3) 人文学研究科の科目の授業開講期間及び開講曜日時限等は、令和7年2月初旬までに人文学研究科言語文化学専攻ホームページで公表する予定の令和7年度学年暦、令和7年度時間割表を参照してください。なお、上記の授業科目は、この出願要項公表時点において開講予定ですが、急きょ諸事情により、不開講となることがあります。

○言語文化学専攻ホームページ(学年暦・時間割等) <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/student/calendar.html>

注4) 人文学研究科の科目の授業内容は、言語文化学専攻ホームページ、もしくは大阪大学のシラバス検索ページを参照してください。また、人間科学研究科及び法学研究科の科目の授業内容は、大阪大学のシラバス検索ページを参照してください。なお、令和7年度開講科目のシラバスは、2月上旬頃に公開を予定していますが、シラバスの整備状況によっては出願期限までの公開を保証することができません。そのため、もし、出願期限までにシラバスが公開されていない場合は、令和6年度開講科目のシラバスを参考としてください。授業の目的と概要は令和6年度開講科目のシラバスから大きく変更されることはありません。

○言語文化学専攻ホームページ(シラバス) <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/education/syllabus.html>

○大阪大学シラバス検索ページ https://koan.osaka-u.ac.jp/syllabus_ex/campus